

待ち望む生命

干ばつの地 ゴデにて

2000年8月 強く照りつける日差し

ほこりだらけの大地

家畜も死ぬという干ばつの地の病院にて

出会った子供達

光の玉が動いている様に

私のまわりをとり囲む

あまりにかわいく あまりに光輝く

笑顔に魅せられた

驚いた

楽しかった 笑ってはならぬと思っていた

が、いつかから 子供たちと笑い合っていた

涙が止まらなくなった

あの子供達の為に生きると私の中に光が灯る

再び会えることを待った

2000年12月 再びゴデの地へ着く

私は子供達を探す

ゴデの地を離れるまで

誰一人 再び会うことはなかった

あの子供達はいないの と問うた

私は再び会えることを疑わずにゴデに行った自分が

何か大きな間違いをしたかの様に空虚になった

目の前に現われぬ子供達を探し求める日々

11月10日のエチオピアコンサートが近づいた今

多くの美しい生命が待ち望んでいることを

はっきりとわかる瞬間瞬間

生命があっても亡くなってでも

出会った生命の光は共に生きていることを

日々感じる

11月10日に向け

待ち望む生命と生命

光と光の出会い

新しい歴史をうみだす

2度と生命の犠牲にならない

新しい時代のはじまり